

## 平成29年度事業計画について

当協会は、公益財団法人への移行（H25.4.1）に伴い、「新法人の体制再構築」「がん検診事業」「指定管理受託事業」の3つのあるべき姿について、今後5年間の事業展開のためのガイドラインとしての中期事業計画を作成（H24年度）し、目標の達成のための事業実施計画を作成（H25年度）した。

平成29年度については、第一次中期事業計画の最終年度として5年間の事業を総括し、検証・分析を行った結果として得られたアウトカム評価と国の方向性や社会情勢の情報収集を基に、将来を見据え成果のある第二次中期事業計画の策定に重点を置き年度内の完成を目指す。その結果、新規の取組みは最小限にとどめ、通常の公益目的事業を中心に取組む予算編成となった。

その中での主な取組みとして、がん検診事業に関しては、年度毎にがん検診受診者数の数値目標を定めがん検診受診率50%を目標に事業に取組むとともに、正しい知識の普及と啓発事業を引続き継続し事業の拡大を図る。また、がん検診を取り巻く環境が年々変化していくなか、平成28年度には胸部X線検診車を増車し、肺がん検診体制を強化し受診拡大を目指すとともに、「がん検診機器のデジタル化」に向けて機器の整備や検査技師、放射線技師の資格更新や研修等への積極的な参加により職員の資質向上に努め、環境の変化にも柔軟な対応が出来るように備える。

次にふくい健康の森管理運営事業に関しては、次の指定管理申請も視野に入れ、県民健康センターは事業内容の見直しの検討、けんこうスポーツセンター・生きがい交流センターは施設改修に伴う新たな事業に取組み、第二次中期事業計画に備える。主な取組みとして、県民健康センター事業は新規の事業所健診の開拓やオプション検査の追加の検討をすることにより、受診者のニーズに合った健診機関を目指すことに取組む。また、けんこうスポーツセンターや生きがい交流センターは施設間の連携事業に重点を置き、協会の特性を活かした事業展開をして利用者増を図る。具体的な取組みとして、けんこうスポーツセンターは従来行われていた、「バランス改善教室」を「完全個別トレーニング」と名称を変更し、減量月間に組入れて実施する。そのメニューを県民健康センター受診者にも促し、県民健康センターとスポーツセンターの連携事業の強化を図る。また、利用者のニーズに合った有料教室を取り入れることにより、利用者増に努める。更に平成28年度にテニスコートがリニューアルしたのに伴い、協会主催の「ふくい健康の森 Cup テニス大会」（仮称）を実施する。生きがい交流センターは、ここ数年利用者の減少傾向にあるが、それを防ぐために広報事業の強化、既存事業の見直し、新規事業に取組み、利用者の減少傾向に歯止めをかけることに重点を置きながら、固定利用者の確保と新規利用者の獲得に努める。また、平成29年度に浴室の床面の大規模修繕が決定したことに伴い、「リニューアルオープン」の広報活動を実施し「健康の森温泉」のアピールに努め、利用促進を図る。

森全体としての取組みとしては、季刊誌「健康の森通信」をはじめチラシ等の配布、ホームページを活用した3施設の紹介、健康フェア「けんもりふえすた」等のイベントの開催等に取組み、ふくい健康の森の周知度の向上に努め、利用促進を図る。

### 1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づく、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取組み、必要な情報の提供等を行う。

事業経費（総額）656,494千円

#### (1) 29年度で行う主な中期事業計画の取組み

ア 中期事業No.1,20 がん検診事業

「肺がん検診完全デジタル化移行」に伴う体制の整備

事業経費 3,840千円

・胃がん・肺がん検診読影パソコンの更新

- ・肺がん検診車デジタル化移行に伴う、胸部X線検診車 9号車(フィルム)の廃車
- イ 中期事業No.2 がん検診事業 (受診者拡大)
  - 小規模事業所に対してがん検診受診の促しや大腸がんの受診率向上の為に市町と連携して受診勧奨や啓発イベントでのブースの出展に取組む等、がん検診受診率の向上を図る。
  - 事業経費 3, 660千円
  - ・出前検診
  - ・働く女性のがん検診受診者拡大(福井県と連携)
  - ・市町大腸がん受診者拡大モデル事業
  - ・検診会場送迎事業
  - ・子宮がん・大腸がん検体回収事業
- ウ 中期事業No.12, 14 がん患者サポート事業、がん征圧キャンペーン事業
  - がん患者とその家族、介護者等の心身の健康と社会生活の支援のための体制づくりと的確なサポートを行う。
  - 事業経費 3, 389千円
  - ・がんサロンの開設および周知、ケア帽子の寄付、患者会との連携強化
  - ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン ふくいの開催
  - ・ピンクリボンキャンペーンの実施
- エ 中期事業No.13 がんに関する広報事業
  - がん検診の重要性・必要性について幅広い広報を行う。
  - 事業経費 1, 778千円
  - ・啓発用資材の配布(乳がん自己触診手袋、ネーム入りボールペン等)
  - ・ショッピングセンター等でのイベント開催
- オ 中期事業No.56 施設・設備保守事業
  - がん検診・健康診査事業に係る施設・設備等の保守などを実施し、事故ゼロ・業務停止ゼロを目指し円滑な事業運用に努める。
  - 事業経費 67, 180千円
  - ・検診車搭載機器(胃X線機器・肺X線機器・乳X線機器)保守点検
  - ・検診車車体整備(車体定期点検、車検 等)
  - ・県民健康センター検査機器保守点検
  - ・健康診断システム保守 他

## (2)がん検診事業

		29年度計画 (人)			28年度見込み (人)		
		集団	個別	妊婦	集団	個別	妊婦
胃がん		10,000	11,000		19,050	10,470	
大腸がん		41,000	13,500		40,590	15,430	
肺がん	X線	39,100	14,000		36,450	17,220	
	喀痰	600	200		620	200	
子宮がん		13,000	14,000	5,800	12,600	13,760	5,830
乳がん		13,750	8,500		13,320	8,250	
計		117,450	61,200	5,800	122,630	65,330	5,830
合計		184,450			193,790		

### (3)がん検診受診勧奨事業

県内市町のがん検診の未受診者対象者に電話等で受診の勧奨を実施する。

対象者数 : 21,500人(28年度見込 22,500人)

### (4)健康診査事業(県民健康センター)

コース名	29年度計画(人)	28年度見込(人)
総合健康コース	1,200	1,210
一般健診	3,100	3,080
骨密度健診	240	250
特定健診	20	20
特定保健指導	180	100
その他の健診	210	260
計	4,950	4,920

### (5)無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)

一般県民を対象に県民健康センターや生きがい交流センターで健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施する。

利用人数 : 1,160人(28年度見込 1,110人)

### (6)啓発・キャンペーン事業

ア がん征圧月間(9/1~30)・結核予防週間(9/24~30)の取組み

他団体や企業との連携協力による、がん征圧月間広告等の掲示依頼やパネル展開催等活動、マスコミを利用した広告、広報活動を実施する。また、がん征圧月間ポスターや結核予防ポスター等を関係機関に配布する。

イ 県、市町との連携

県が開催する健康増進イベントへの協力および広報活動の連携や市町が開催する健康フェア等、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力する。

ウ 関係機関、団体等との連携

医師会やピンクリボンの会(ピンクリボンキャンペーン)、がん克服の会などの活動に積極的に参画、協力を行う。

エ 日本対がん協会グループ福井県支部としての活動

リレー・フォー・ライフ・ジャパン ふくいを開催する。

オ 講演会・研修会の開催

市町が主催する講演会に講師派遣をするほか、従事者を対象に専門的な研修会を開催し、専門分野に関する情報提供をする。

## 2. 健康づくり・体力づくり・生きがいくりに推進事業

「ふくい健康の森」の施設を活かし、県民の健康づくり・体力づくり・生きがいくりを一体的に推進するための各種教室の開催や施設の提供を行う。

事業経費（総額） 393,921千円

### (1) 29年度で行う主な中期事業計画の取組み

#### ア 中期事業No.29 個別運動指導事業（2拠点連携事業）

県民健康センターとスポーツセンターの連携により、受診者の体力づくりと生活習慣病予防を推進する。

事業経費 609千円

- ・減量月間、完全個別トレーニング 他

#### イ 中期事業No.31 体力づくり教室事業（2拠点連携事業）

生きがい交流センター利用者に定期的な体験型教室を開催し、スポーツセンターの施設機能の周知と運動教室への参加を促し、利用者増を図る。

事業経費 0千円

- ・ポールウォーキング教室 他

#### ウ 中期事業No.33,36 利用促進事業

企業、学校等への勧誘および周辺地域への出前宣伝等により利用者の拡大を図る。また、協会主催の「ふくい健康の森Cup テニス大会」（仮称）を開催することにより公園の利用促進を図る。

事業経費 1,034千円

- ・学校等への勧誘によるスポーツ公園の利用促進
- ・企業等の福利厚生への組入れ
- ・回数券・定期利用券販売促進
- ・テニス大会の開催 他

#### エ 中期事業No.40 再来者（リピーター）拡大事業

生きがい交流センターでの回数券の特別販売等、顧客要望に対する的確なサービスの提供を行い、リピーターの拡大を図る。

事業経費 846千円

- ・回数券特別販売期間の設置
- ・回数券購入者対象にスタンプカード発行
- ・年始温泉入浴者対象にくじ引きサービス 他

### (2) 健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業（県民健康センター）

生涯を通じて積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立をめざして、リラクゼーション教室、ヘルシー栄養教室等の健康増進各種教室および地域リハビリテーション事業（地域支援事業）の運動障害回復訓練事業を実施する。

利用者数： 3,830人（28年度見込：4,050人）

### (3) 運動プログラム指導事業（けんこうスポーツセンター）

個人の健康づくりへの支援として、個別運動プログラムの発行、体力テストおよび3か月減量講座等を実施し、きめ細かなアドバイスを行う。

利用人数： 7,700人（28年度見込：7,500人）

#### (4) 生きがづくり推進事業(生きがい交流センター)

世代間の交流や趣味を広げ、楽しみながら生きがづくりに取り組めるよう、県老人クラブ連合会との連携事業をはじめ、生きがい創作講座、親子チャレンジ講座、文化講座等を開催する。また、ふれあいコンサートや似顔絵展を開催し、利用者にやすらぎの場を提供する。

利用人数：12,100人(28年度見込11,430人)

#### (5) 体かづくり教室事業(けんこうスポーツセンター)

様々な年齢や体力に合わせた、フラダンス、キッズダンス等の健康教室および初・中級者向けのテニス教室や水泳教室を開催する。また、利用者ニーズに対応した教室を開催し体かづくりの実践指導を行う。

利用人数：61,900人(28年度見込：60,400人)

#### (6) 施設の提供事業

##### ア 県民健康センター

健康の増進に関する会議、研修等に会議室等の施設を提供する。

利用者数：750人(28年度見込：750人)

##### イ けんこうスポーツセンター

温水プールやトレーニングジム、テニスコート等の屋内外の各種運動施設を効果的に活用することにより、子供から大人まで幅広い年齢層を対象に、楽しみながら運動を実践できる場を提供する。

内 容	29年度計画(人)	28年度見込(人)
けんこうスポーツセンター・温水プール	210,000	210,000
健康スポーツ公園	54,500	48,100
計	264,500	258,100

##### ウ 生きがい交流センター

「健康の森温泉」として、屋内外に季節感を演出したり、入浴に関する情報提供を充実させるなど、独自色をアピールすることにより他の施設との差別化を図り、こころとからだに安らげる場を提供する。また、会議、研修等の場として交流ホール、ふれあい研修室等の施設を提供する。

内 容	29年度計画(人)	28年度見込(人)
健康の森温泉	147,300	145,380
交流ホール等	7,440	7,230
計	154,740	152,610

### 3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生きがいつくり推進事業に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行う。

事業経費（総額） 5, 658千円

#### (1) 29年度で行う主な中期事業計画の取組み

ア 中期事業No.44 「けんもりふえすた」開催、「わんぱくフェア」会場誘致

健康の森の存在をアピールするため、けんこうスポーツセンター、生きがい交流センターの拠点連携による健康フェアを開催する。また、福井テレビ主催の「わんぱくフェア」の会場誘致をはじめブース出展等、積極的に協力し、来場者に“ふくい健康の森”をアピールする。

事業経費 818千円

- ・健康フェア「けんもりふえすた」の開催
- ・わんぱくフェアの誘致 等

イ 中期事業No.13 がんに関する広報事業

組織一体となった広報活動を行い、迅速で確実な情報を発信する。

事業経費 2, 000千円

- ・メディアを活用し、がん検診の必要性・重要性に関する広報と協会のアピール

ウ 中期事業No.55 “健康の森温泉”リニューアルに伴う広報活動 他

生きがい交流センター浴室の床面大規模修繕に伴い、健康の森温泉リニューアルの広報を含め、ふくい健康の森全体の広報活動の拡大を図る。

事業経費 1, 415千円

#### (2) 研究・研修事業

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、各部位別研究会等を開催し、研究成果を発表する。

29年度計画 25回（28年度見込 25回）

#### (3) 広報活動

ア 情報誌等の発行

「健康の森通信」の内容を充実強化し、健康の森を県民の健康づくりの発信地として情報提供を行い、協会のイメージアップを図る。

イ ホームページによる情報提供

ホームページを積極的に活用し、県民への情報サービスの質的アップと協会運営の透明化を図る。

ウ ロゴ・マスコットキャラクターの活用

ノベルティの作成およびイベント等での着ぐるみの活用による広報を実施する。

エ イベントの開催

「けんもりふえすた」等のイベントを実施し、ふくい健康の森をアピールし利用促進を図る。

### 4. 法人管理

健康管理協会の法人運用に関する業務で法人全体の管理、運営等を行う。

事業経費（総額） 5, 042千円